

題材「どんな味がするの? 外国の発酵食品」

1 時間中の第 1 時

(1) 学習のねらい

前から、外国の食文化に興味を持った子どもたちが、イギリスの発酵食品であるマーマイトに触れることを通して、外国にも様々な発酵食品があることに気づき、キャラン先生とにおいや味などの英語の表現を介した時間を楽しむことができる。

(2) 本時の学習材

イギリスの発酵食品であるマーマイトを食べたキャラン先生の反応

- 子どもたちは、シュールストレミングやベジマイトという発酵食品から、外国の発酵食品にさらに興味を持っていくだろう。その意識をとらえたところで学習材を提示する。
- 本学習材は、イギリスの発酵食品であるマーマイトである。本学習材を提示することで、外国にも様々な発酵食品があることに気づき、キャラン先生とにおいや味の表現を楽しむことが期待できる。

(3) 学習の展開

過程	学 習 活 動	予想される子どもの動き	時間	指 導 と 評 価
課題把握 展開	1 スウェーデンな は、「シュールスト レミング」という有 名な発酵食品があ ることを知る。 ・ オーストラリアに は、ベジマイトとい う発酵食品がある ことを知る。	- 知ってる、ものすごく臭いやつ！ - スウェーデンの発酵食品なんだ！ - 日本にも、いろんな発酵食品があるよね。 ----- 学習問題 ----- オーストラリアには、どんな発酵食品があるのかな。	10'	- 英語で簡単な挨拶を行う - パワーポイントを使って写真を提示する。 「発酵食品」という言葉を、日本でもなじみのある納豆、チーズ、ヨーグルトを例に挙げて説明する。 - ベジマイトと似た発酵食品「マーマイト」だということ、ベジマイトは今回買えなかったことを確認する。
	学習課題 ベジマイと似たイギリスの発酵食品「マーマイト」 は、どんなにおいや味がするのかな		27'	——— 学習材 ——— イギリスの発酵食品であるマーマイトを食べたキャラン先生の反応 においの表現の仕方、、味の表現の仕方を確認する。
終末	2 ベジマイトと似た、イギリスの発酵食品マーマイトを実際に出し、においをかいだり試食してみる。 3 振り返り 今日の活動を振り返っての感想を書く。	- That smells good. - unpleasant smell - odor - stink - sweet - hot - salty - sour - bitter - good - not bad = 不味くはない - interesting = 面白い味 - different = 変わった味 - I' m not a big fan = 特に好きではない - tastes bad = 不味い - disgusting = すっごい不味い	8'	——— 評 価 ——— キャラン先生と英語を介した時間を楽しむことができたか、子どもの活動の様子から捉える。

(4) 反省